



2022年3月期第3四半期 決算説明資料

ジオホールディングス(2681)

February. 10. 2022

GEO HOLDINGS CORPORATION

本資料の記載内容

- ・ 2022年3月期 第3四半期 サマリー
- 1 2022年3月期 第3四半期 連結業績
- 2 2022年3月期 業績予想の修正
- 3 成長への取組み
- 4 グループ概要
- 5 補足資料

2022年3月期第3四半期サマリー

第3四半期トピック

- 2nd STREET(国内) 第3四半期期間に19店舗を出店し、当期累計46店舗出店完了
- 2nd STREET(海外) 第3四半期期間に米国1店舗、台湾・マレーシアに各2店舗出店

第3四半期業績ハイライト

- 売上高は、ゲーム機本体の供給不足とゲームソフトのビックタイトルに恵まれなかったことから、例年よりも厳しいクリスマス・年末商戦となるも、リユース系リユース商材の売上増加により収益認識基準の適用による減収影響を跳ね除けて、前期比100.7%と増収に転換
- 営業利益は、売上総利益が前期比102.3%の971億円となり、広告宣伝費・出店に伴う地代家賃等の増加もあるも、前期比127.0%の56.6億円と増益
- リユース系リユース商材売上は、高級腕時計を中心としたお蔵の海外卸売りの好調継続並びに新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛ムード緩和に準じる形で2nd STREET(国内)の売上回復が見られたこと及び2nd STREET(国内)の新規出店寄与により前期比143.9%と大幅増収

2022年3月期第3 四半期連結業績

1

2022年3月期第3四半期 連結損益計算書

リユース系リユース商材売上の回復により売上・営業利益回復

	21.3月期 3Q実績	22.3月期 3Q実績	前期比	増減
単位：百万円				
売上高	243,396	244,991	100.7%	1,594
売上総利益	94,945	97,152	102.3%	2,207
（売上総利益率）	39.0%	39.7%		
販管費	90,487	91,490	101.1%	1,003
営業利益	4,457	5,661	127.0%	1,203
（営業利益率）	1.8%	2.3%		
経常利益	4,774	6,643	139.2%	1,869
当期純利益	1,018	4,308	422.9%	3,289

※当第1四半期から収益認識基準の適用により、前期売上高につきまして基準の異なる算定方法に基づいた数値を用いています。

※当期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益

1

2022年3月期第3四半期 商材別売上高

単位：百万円	21.3月期 3Q実績	22.3月期 3Q実績	前期比	増減額
リユース	97,500	122,244	125.4%	24,744
リユース系	56,090	80,709	143.9%	24,618
メディア系	41,410	41,535	100.3%	125
新品	79,877	76,023	95.2%	▲3,854
レンタル	40,108	32,716	81.6%	▲7,391
その他	25,910	14,007	54.1%	▲11,903
合計	243,396	244,991	100.7%	1,594

国内衣料品の販売回復とラグジュアリー商材の海外卸売りの伸長により増収

ゲーム関連商材における巣ごもり特需の収束により減収

レンタルに対する需要減少は継続

※前期まで「その他」区分としていましたGEO・2nd STREET(国内)以外の取扱商材について、今期より各商材の属性に基づき、リユース系リユース・メディア系リユース・新品の集計区分に変更しています。

1

2022年3月期第3四半期 商材別売上総利益

単位：百万円	21.3月期 3Q実績	22.3月期 3Q実績	前期比	増減額
リユース	46,725	54,040	115.7%	7,315
リユース系	29,737	37,602	126.5%	7,865
メディア系	16,987	16,437	96.8%	▲549
新品	12,472	11,966	95.9%	▲505
レンタル	26,237	20,657	78.7%	▲5,579
その他	9,509	10,487	110.3%	977
合計	94,945	97,152	102.3%	2,207

高単価商材販売増加及び高級時計を中心とした海外卸売の増加により売上総利益は増加するも売上総利益率は低下

デジタルコンテンツ事業の売上高が収益認識基準の適用により減少したものの、取引量の増加により売上総利益は増加

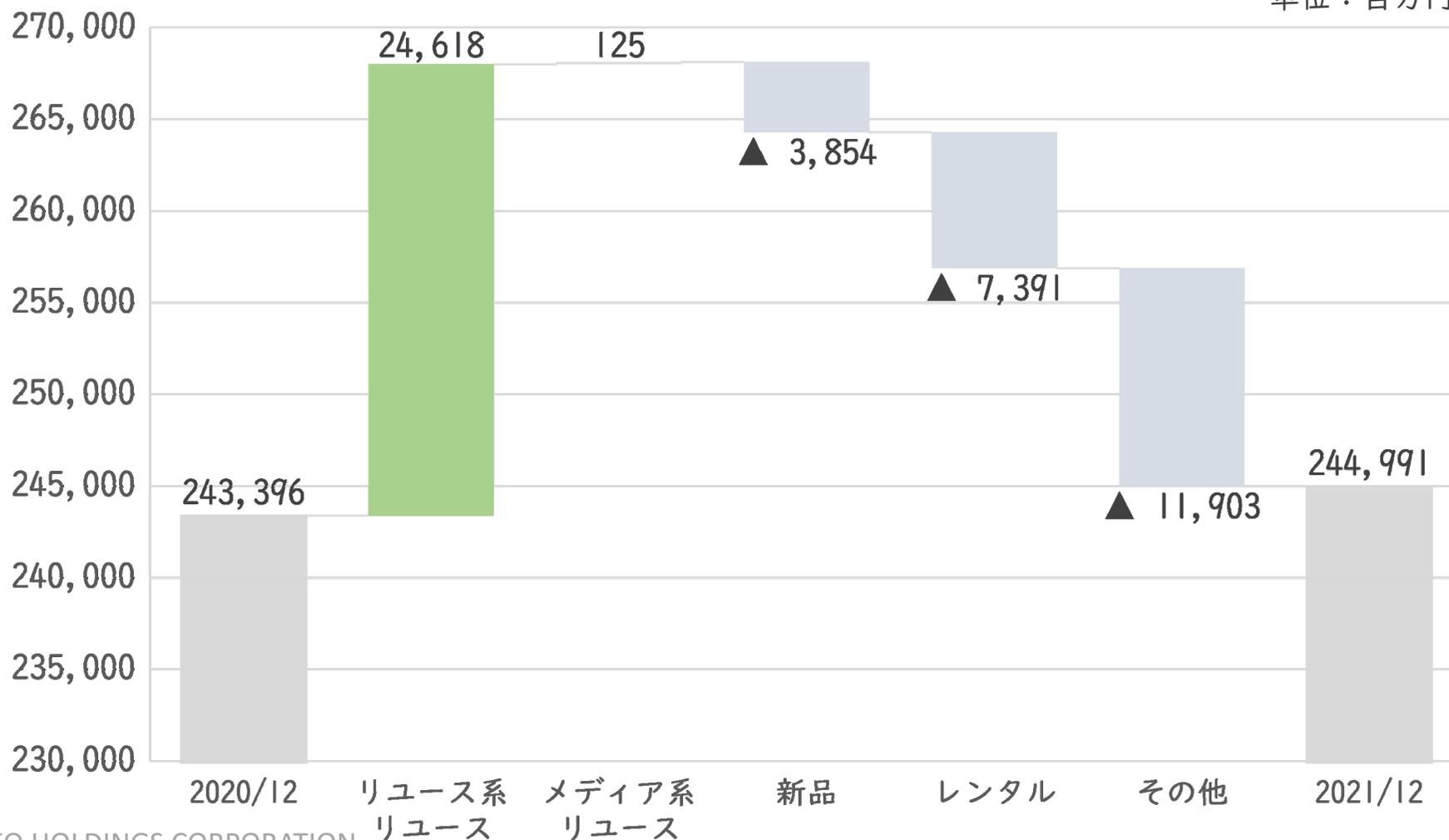
※前期まで「その他」区分としていましたGEO・2nd STREET(国内)以外の取扱商材について、
今期より各商材の属性に基づき、リユース系リユース・メディア系リユース・新品の集計区分に変更しています。

1

2022年3月期第3四半期 売上高前期比増減

リユース系リユース商材の回復と成長によりレンタルとゲーム関連商材販売の減少を補い増収に反転

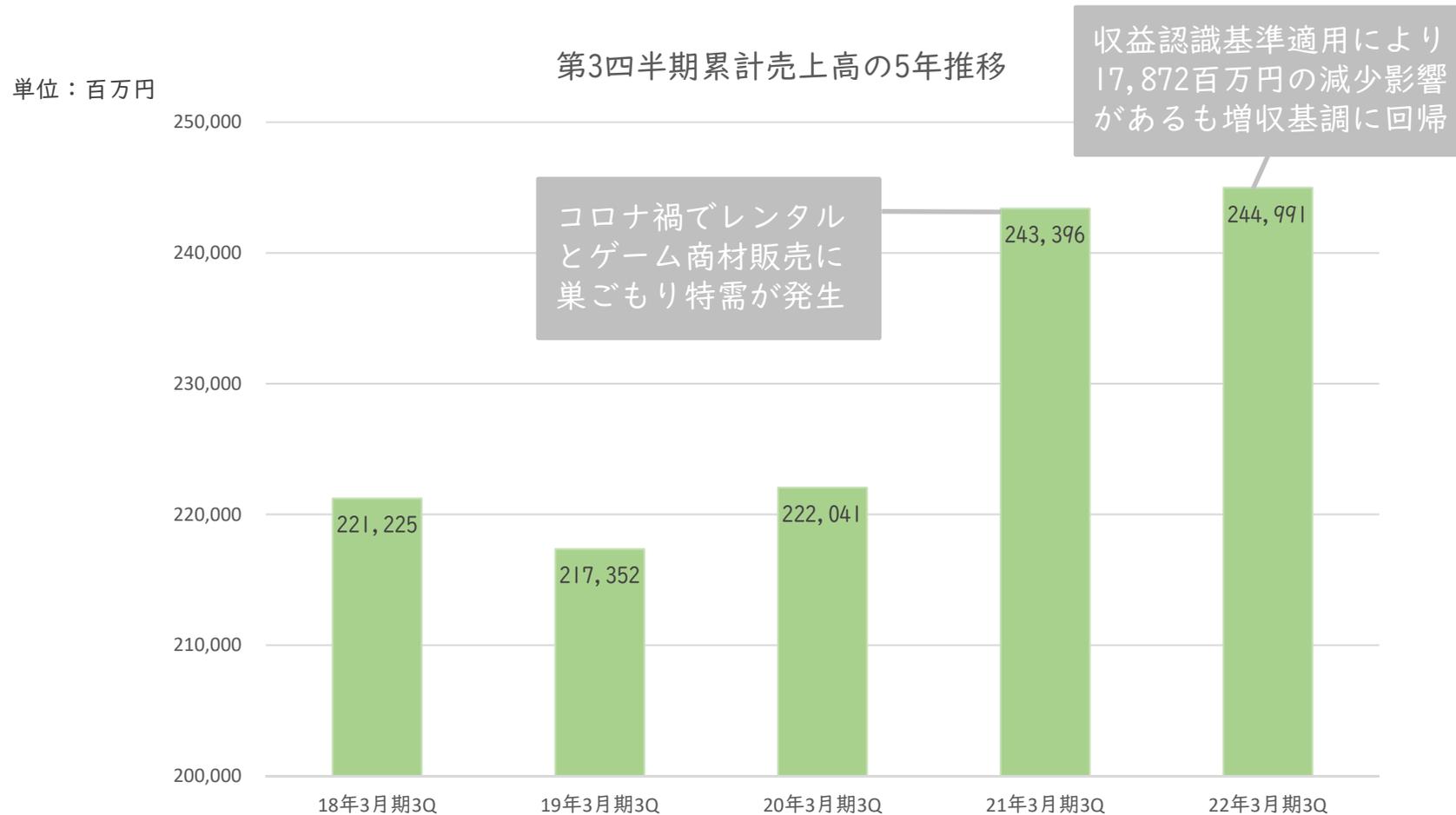
単位：百万円



1

第3四半期累計売上高推移

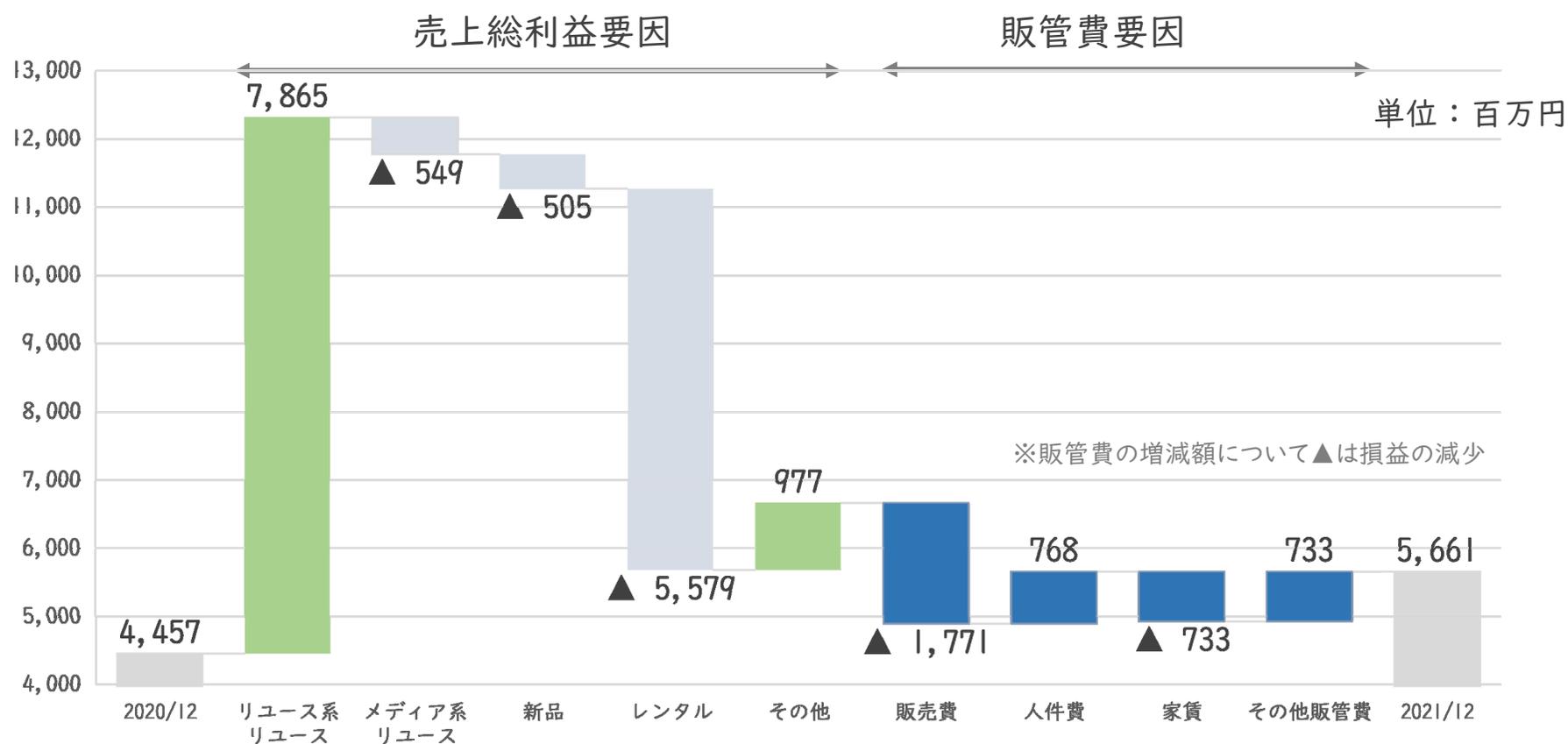
当第3四半期の売上高は、収益認識基準適用による影響がありましたが、コロナ禍の中でも継続しました2nd STREETの出店とリユース系リユース商材の売上伸長により増収基調に回帰



1

2022年3月期第3四半期 営業利益前期比増減

リユース系リユース商材の売上総利益増加により、レンタルでの売上総利益の減少を補い、また販売費の増加はあるも前期並みの販売管理費となったことにより、営業利益増



1

2022年3月期第3四半期 販売管理費

出店による地代家賃やデジタルコンテンツ事業における広告宣伝費の増加がありましたが、人件費を中心としたコスト抑制により販管費合計では前期比1.1%増

※販管費の増減額について、▲は損益の増加

単位：百万円	21.3月期		22.3月期		増減	(前期比)
	3Q実績	(売上比)	3Q実績	(売上比)		
販売費計	10,952	4.5%	12,724	5.2%	1,771	116.2%
広告宣伝費	4,529	1.9%	5,892	2.4%	1,363	130.1%
販売促進費	548	0.2%	280	0.1%	▲268	51.1%
販売手数料	2,992	1.2%	3,654	1.5%	662	122.1%
人件費計	43,998	18.1%	43,230	17.6%	▲768	98.3%
その他諸経費計	35,535	14.6%	35,536	14.5%	0	100.0%
水道光熱費	2,534	1.0%	2,630	1.1%	95	103.8%
地代家賃	18,028	7.4%	18,761	7.7%	733	104.1%
減価償却費	3,388	1.4%	3,144	1.3%	▲244	92.8%
備品消耗品費	2,075	0.9%	1,460	0.6%	▲615	70.3%
修繕費	557	0.2%	504	0.2%	▲52	90.6%
販管費計	90,487	37.2%	91,490	37.3%	1,003	101.1%

1

2022年3月期第3四半期 連結貸借対照表

単位：百万円	2021年 3月31日	構成比	2021年 12月31日	構成比	増減額
流動資産	113,687	67.0%	119,844	67.9%	6,157
現金及び預金	51,865		44,368		▲7,497
商品	42,218		51,507		9,289
固定資産	56,050	33.0%	56,526	32.0%	476
有形固定資産	28,177		28,877		700
無形固定資産	2,349		2,742		393
投資その他資産	25,524		24,906		▲618
資産合計	169,738	-	176,371	-	6,333
流動負債	41,038	24.2%	43,830	24.9%	2,792
買掛金	15,108		15,624		516
1年以内返済予定の長期借入金	5,012		6,537		1,525
固定負債	55,717	32.8%	56,974	32.3%	1,257
長期借入金	45,943		47,556		1,613
負債合計	96,755	57.0%	100,804	57.2%	4,049
純資産合計	72,982	43.0%	75,566	42.8%	2,584
負債純資産合計	169,738	-	176,371	-	6,633

キャッシュレス決済の増加に伴い売掛金が増加

正月商戦向け在庫の確保に加え、ラグジュアリー商材在庫が増加

在庫確保の資金として、短期借入を3Qに実行

1

2nd STREET（国内）

当第3四半期の国内2nd STREETでは、19店舗の出店を行い、当期累計の出店数は46店舗となりました。依然コロナウイルスの影響について不透明な部分もございますが、当期60店舗の新規出店計画達成に向けて出店を継続しております。

成長を続けるリユース市場で、顧客接点となる店舗という仕入と販売の拠点の整備を進め、またテレビCM、WEB広告等を効果的に行い、各種キャンペーン施策も含めたりユースの認知向上を図ることにより、2nd STREETは成長を継続させております。



1

2nd STREET (海外)

2nd STREETにおける海外展開として、当第3四半期では、アメリカ1店舗、マレーシア2店舗、台湾に2店舗の合計5店舗を新規出店しました。
(今期累計出店数:アメリカ1店舗・マレーシア3店舗・台湾6店舗)

海外においても新型コロナウイルス感染症拡大防止のための各地域毎の規制等の影響はありますが、海外出店は当社グループの成長戦略に必要であると考えており、今後も継続的に出店・店舗網の整備を進めてまいります。



セカンドストリートHaight St店
(アメリカ カリフォルニア州)



セカンドストリート台北中山收購専門店
(台湾 台北市)



セカンドストリートUSJ TAIPAN店(マレーシア Selangor)

1

リユースラグジュアリー商材の強化



「OKURA TOKYO」(おお蔵)は、高級時計・ブランドバッグなどのラグジュアリー商材のリユースを、買取専門店も含めて19店舗で展開しており、店舗販売以外にも海外への卸売やオークション市場も運営しています。引き続きラグジュアリー商材を強化していくため、今期は出張買取にも注力いたします。

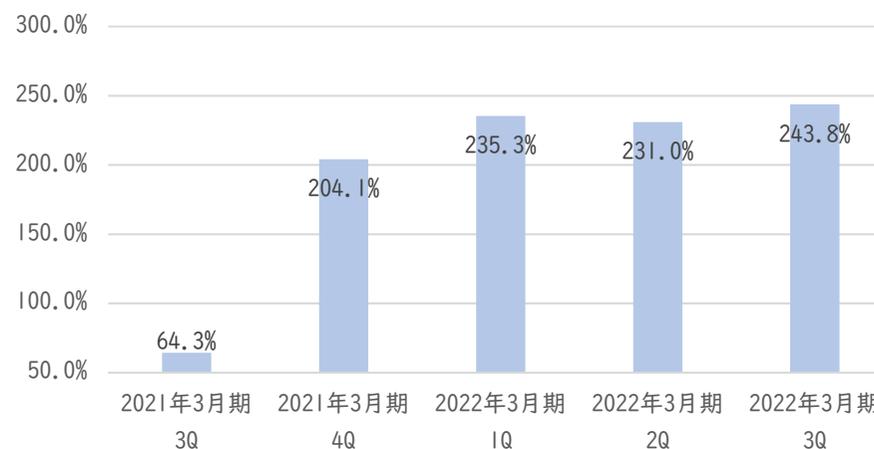
当期においては、高級時計を中心に海外でのブランド品リユース需要が好調に推移し、海外卸売りの売上が大幅増となっております。

当社グループは国内リユース市場におけるラグジュアリー商材でNo.1を目指していきます。



OKURA TOKYO大阪本店&セカンドストリート心斎橋南店
(大阪府中央区)

海外卸売売上の前年四半期比



1

GEO店舗での商材追加・売場リニューアル



省スペース型のレンタルパッケージの検証試験、大型テレビ等のリテール家電・スマホとその関連アクセサリ売場の拡張に加え、菓子・食品の導入等、レンタル市場の縮小に対応する商材追加・売場リニューアルに取り組んでおります。



ながら専用

耳をふさがない
骨伝導ワイヤレスイヤホン
税抜 **2,980円** (税込3,278円)

累計販売数100,000個以上

1

オフプライスストア



OPS（オフプライスストア）業態とはメーカーの生産余剰品やシーズンオフ品などを仕入れて、店内商品の全てをいつでもセール価格で提供するフォーマットです。アパレルの余剰在庫問題に関心が寄せられる中、資源の有効活用につながる注目の業態です。当社グループでは、OPS業態のトップランナーとして店舗モデルの確立と運営の標準化を進めながらチェーン展開を進めています。

今期は、東京23区内に初出店として「東急プラザ表参道原宿店」を出店し認知を高めるとともに、当第3四半期においては、「イオンモールつくば店」、「イオンモール川口前川店」の2店舗の出店を行いました。



ラックラック東急プラザ表参道原宿店（東京都渋谷区）



ラック・ラック イオンモール川口前川店（埼玉県川口市）

1

ITの積極活用とオンラインの強化

ECサイト、公式アプリ等からのEC販売だけでなく、2nd STREET店舗への「取り寄せサービス」利用を含む電子商取引に関与した物販売上高は、前期比124.6%と伸長しています。

特に新型コロナウイルス環境下で前期から推進しました2nd STREETの各店舗における店舗とECの併売促進の結果、巣ごもり消費の波に乗り、2nd STREET自社サイト(アプリ経由含む)の売上高・販売数の前期比は、それぞれ161.1%・146.8%と大きく伸長しました。

公式アプリ・自社サイトの継続的な改良、認知向上活動並びに物流整備により、お客様が求めるシームレスなサービス提供基盤の整備に努めていきます。

	21.3月期 3Q実績	22.3月期 3Q実績	前期比
EC関与売上高(百万円)	12,480	15,548	124.6%
EC関与販売数(千個)	2,879	2,991	103.9%

1

ゲオグループ店舗数の状況

・ 2022年3月期第3四半期末総店舗数 1,962店

	GEO ※1 	2nd STREET ※2 	2nd STREET (海外) 	OKURA TOKYO (おお蔵) 	Luck Rack 	ウェア ハウス 	その他	合計
直営店	988	699	26	19	16	10	9	1,767
（期中出店）	4	46	10	5	9	0	0	74
（期中閉店）	▲ 36	▲ 21	0	▲ 1	▲ 3	▲ 1	▲ 2	▲ 64
FC・代理店	141	54	—	—	—	—	—	195
合計	1,129	753	26	19	16	10	9	1,962

※1:GEO mobile単独店を含む

※2:Super 2nd STREET・ジャンブルストア・2nd OUTDOOR・買取専門店等を含む



2022年3月期 業績予想の修正

2

2022年3月期 業績予想の修正

2021年5月に公表しました予想値を2022年2月10日に修正いたしました。
 いまだ新型コロナウイルスの新変異株の感染症再拡大への懸念は払しょくされてはおりませんが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛の一時的な緩和により第3四半期会計期間の2nd STREETの売上が想定以上に良化して推移し、また高級時計を中心としたラグジュアリー商材のリユース海外卸売りの好調が継続しましたことから、通期業績予想を上方修正いたしました。

単位：百万円	前回 (2021/5/14) 22.3月期 通期予想	今回 (2022/2/10) 22.3月期 通期予想	通期予想 修正 増減率	(参考) 21.3月期 通期実績値	(参考) 今回 対前期増減率
売上高	320,000	330,000	3.1%	328,358	0.5%
営業利益	4,000	7,000	75.0%	4,311	62.4%
経常利益	4,500	8,000	77.8%	4,795	66.8%
当期純利益	2,000	4,000	100.0%	▲ 752	—

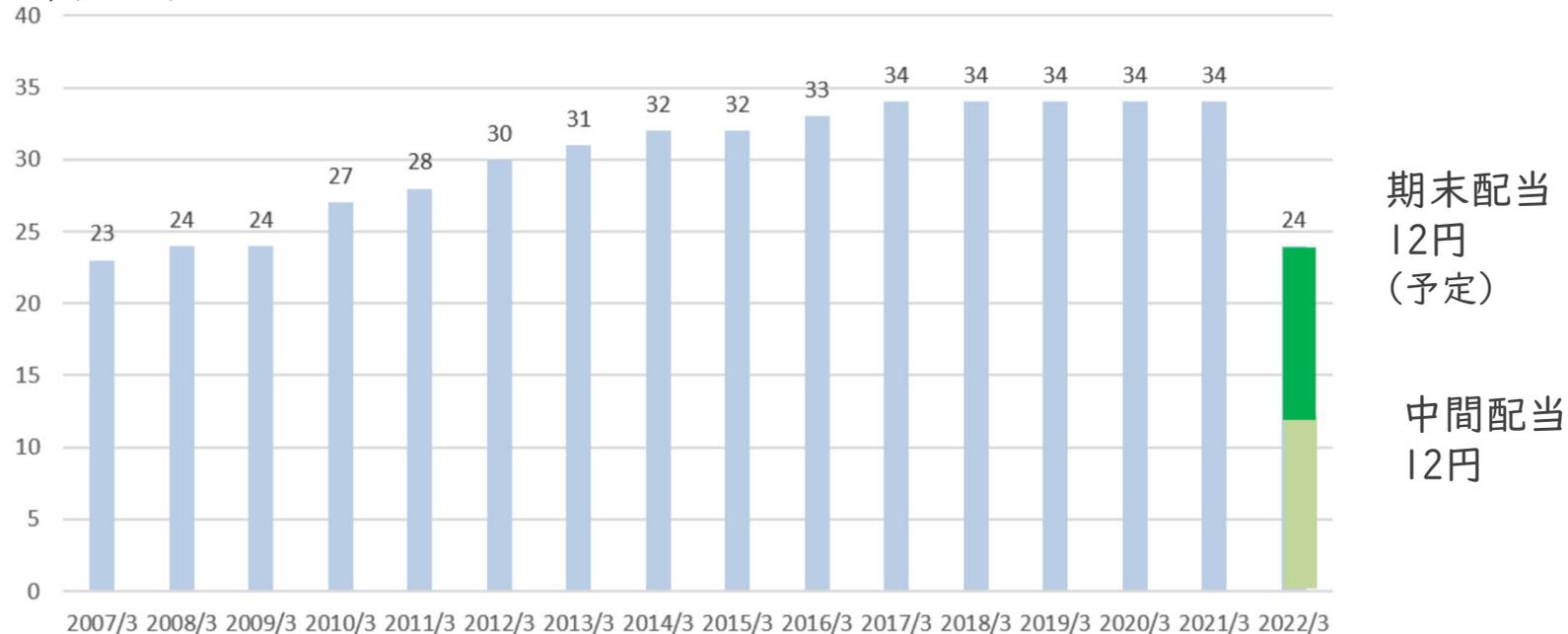
2

配当

株主に対する利益還元を経営の重点課題の一つと認識し、安定的な経営基盤の確保と利益率の向上に努めるとともに、安定的な配当を行うことを基本方針としております。2022年3月期につきましては、利益水準の低下局面からの回復途上であることを鑑みて、誠に遺憾ではございますが前期年間配当実績の34円から年間配当予定額を24円への減配予定とさせていただきます。

分割調整後の1株当たり配当額推移

単位：円



成長への取組み

3

グループ戦略

ネットワークリテイラーへの挑戦
(あらゆるモノの循環インフラとなること)

お客様の消費行動をより理解して、オンラインとオフライン(店舗)の両方で、商品・サービスを自在に選択して利用いただける体制をグループで構築します。

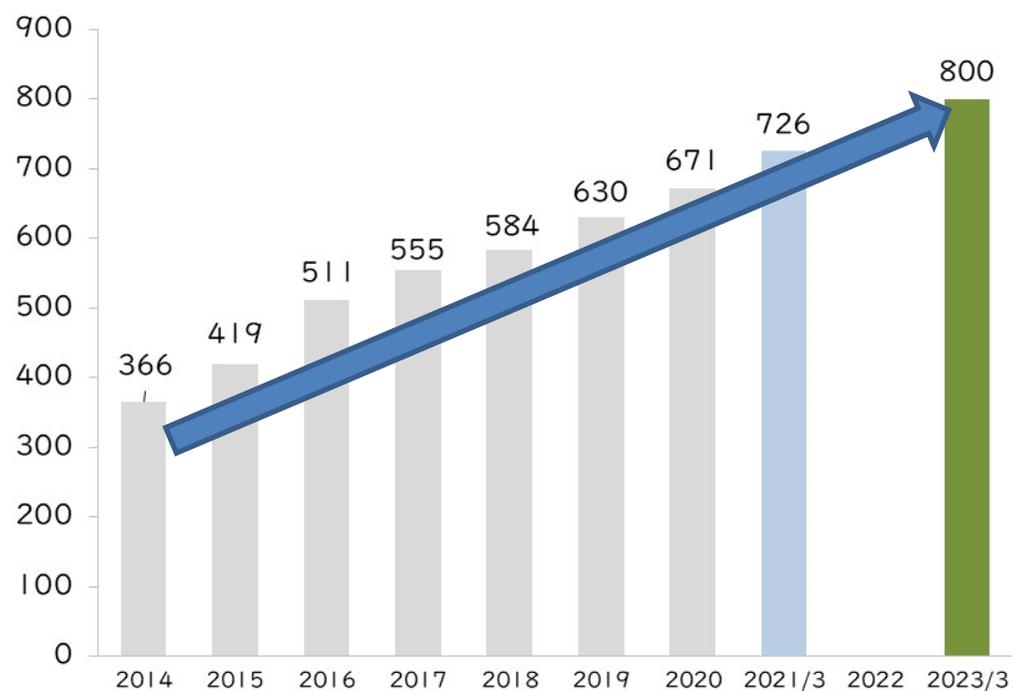


3

リユース市場の深耕

2nd STREETの出店継続

リユースに対する認知向上により、リユース市場の成長は続いており、リユース市場において圧倒的No.1企業となるために、2023年3月期末までに2nd STREETの800店舗体制を目指しています。新型コロナウイルスの影響が続く中ではありますが、積極的な出店を継続することにより顧客とのアクセスポイントを増やし、リユース市場の深耕を推進しています。



スーパーセカンドストリート大宮日進店（埼玉県さいたま市）

3

リユース(2nd STREET)事業の特徴と強み



全国700以上の店舗数と選べる3つの買取方法
 直接店舗へお持ち込みいただく「店舗買取」、大型家具・家電をご自宅で査定する「出張買取」、段ボールに詰めて送るだけの「Web(宅配)買取」の3つを用意し、顧客のニーズにこたえ、リユース業の根幹である仕入に注力しています。

幅広い取扱いと買取実績

洋服、家具、家電、ホビー、アウトドア用品など幅広く取り扱い、買取実績は直接年間7,000万点以上。豊富な実績データを活用して、買取精度を高めています。

バイヤー育成

買取業務を担うバイヤーの育成と買取能力の更なるレベルアップを目的とする社内検定「バイヤー認定制度」を設けています。同制度では、衣料・服飾部門、総合部門の2部門で試験結果に応じて、4段階の認定を行い、その他社内コンテストの継続的開催により大量出店と日々増加する買取商品査定を支える体制を構築しています。

3

メディア(GEO)事業の特徴と強み

GEOは、直営店舗を中心として全国1100店舗以上を展開し、直営店舗中心であることのメリットを活かして本部による在庫の一元管理を行うことで、GEO全体の買取・販売バランス、在庫配分を最適化しています。また、高シェアのレンタルに加えて、ゲーム商材の新品とリユースを同一店舗で取り扱う独自の店舗スタイルや、徹底したローコストオペレーションにより、高い収益力を維持しています。

■全国に広がる

GEO

(直営店)

(代理店)

(FC店)

1,129店舗

988店舗

96店舗

45店舗

(2021年12月31日時点)



セルフレジ

デジタルコンテンツ事業

当社グループは、実店舗における販売・サービスの提供が主な事業領域であります。デジタル化が進むビジネス環境を見据えて、子会社において、デジタルコンテンツ事業を展開しています。

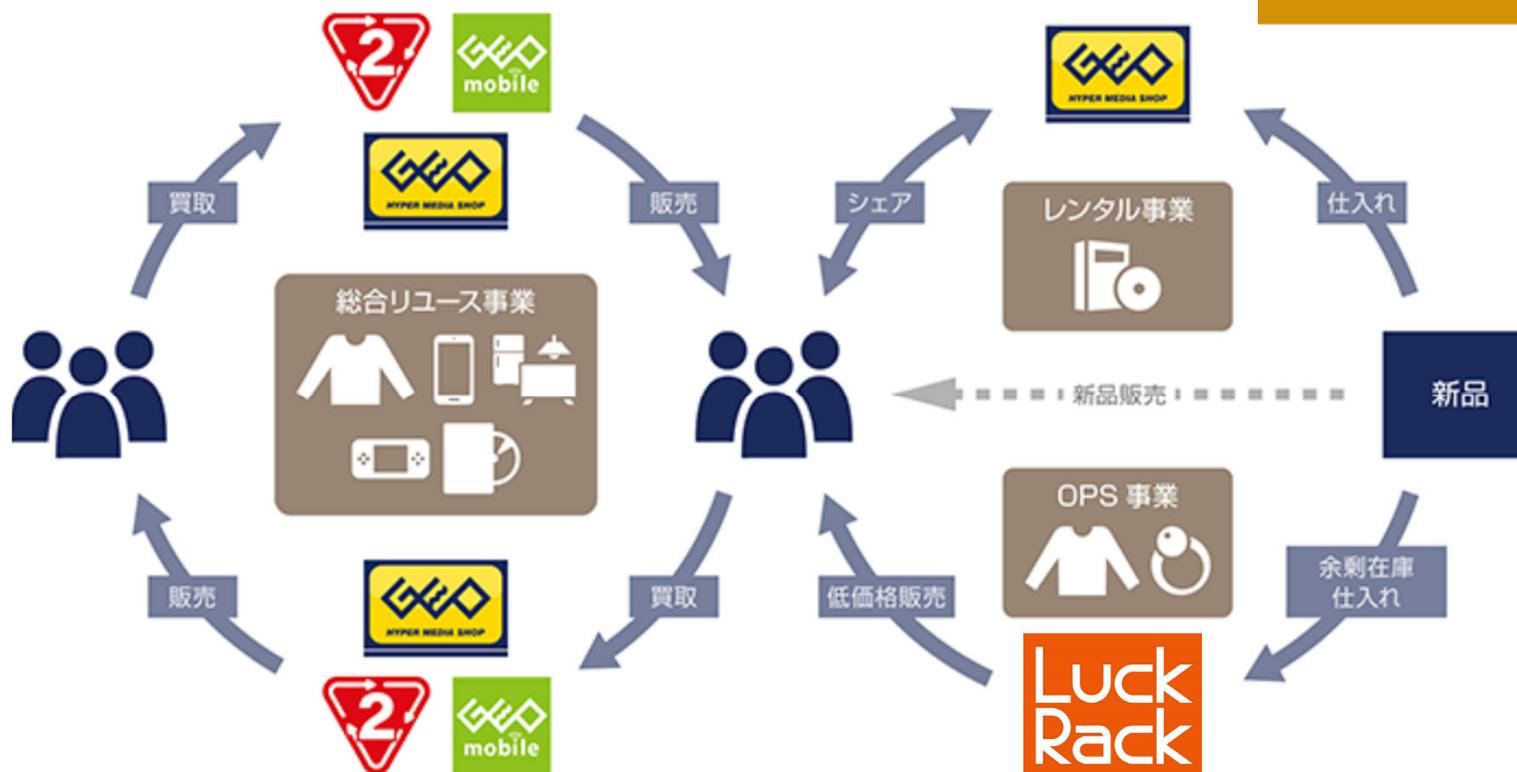
同人誌・音声・コミック・ゲームなどのコンテンツを制作するクリエイターが、デジタル基盤を介して、ファンに向けて販売できる二次元コンテンツダウンロードサイト「DLsite」の運営のほか、ゲーム・ボイス・ASMRコンテンツの制作販売、電子コミック制作および各種コミックサイトへの電子コミック提供を行っております。



事業成長によるSDGsへの貢献

“モノ”を不要な場所から必要な場所へ。
 当社は様々な循環型事業を通して、廃棄物の発生を削減し、
 SDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」に貢献します。

12 つくる責任
つかう責任





エネルギー効率化によるSDGsへの貢献

約1600店舗にLED照明設置を完了。当社の店舗の9割超で、LEDによるCO2削減を進めています。各店舗のレジにタブレット端末を導入し、買取伝票などのペーパーレス化に取り組んでいます。エネルギーの効率化と業務効率化につなげます。

多様な働き方に合わせた環境の構築



■女性従業員の活躍

女性が出産、育児などのライフイベントとキャリア形成を両立でき、一人ひとりが柔軟な働き方を選択できるような仕組みを整えています。2021年の産前産後休業および育児休業取得率は100%です。

■LGBTQ

ダイバーシティ推進活動の一環として、LGBTQへの取り組みを積極的に行っています。「work with Pride」によるLGBTQに関する企業の取り組みを評価する制度であるPRIDE指標ゴールドを4年連続で受賞しました。

work with Pride



■障がい者雇用

ゲオグループの障がい者雇用率は3.39%（2021年6月現在）と、法定雇用率(2.3%)を超えています。2010年から障がい者の雇用促進を目的にした子会社「ゲオビジネスサポート」を設立し、取扱商材の加工などの受託業務、店舗及び各グループ事務所の清掃業務、就労移行支援事業所運営などを行っています。

グループ概要

企業理念：豊かで楽しい日常の暮らしを提供する

・社名	株式会社ゲオホールディングス (英文表記：GEO HOLDINGS CORPORATION)
・会社設立	1989年（平成元年）1月
・本社	〒460-0014 愛知県名古屋市中区富士見町8番8号
東京本部	〒170-0005 東京都豊島区南大塚三丁目53番11号 今井三菱ビル
・代表取締役	遠藤 結蔵
・資本金	89億75百万円(2021年12月31日現在)
・株式上場市場	東京証券取引所 第一部 (2022年4月予定の新市場区分は、「プライム市場」を選択)

4

ゲオグループの主なショップと取扱い商材

		リユース					レンタル		新品			店舗数 (2021年12月 末時点)
		衣料 服飾 雑貨	ラグ ジュア リー商 材	生活 家具 家電	ゲーム 機器 ゲーム ソフト	携帯 電話 スマー トフォ ン	AV家電 PC	DVD ブルー レイ	BOOK CD	衣料 服飾 雑貨	AV家電	
GEO GEO mobile		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1,129
2nd STREET		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	753 (国内)
OKURA TOKYO (おお蔵)		●	● (時計 バッグ)	●	●	●	●	●	●	●	●	19
Luck Rack		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16

※主な取扱い商材の一覧になります。店舗によっては、取扱いがない場合がございます。

補足資料

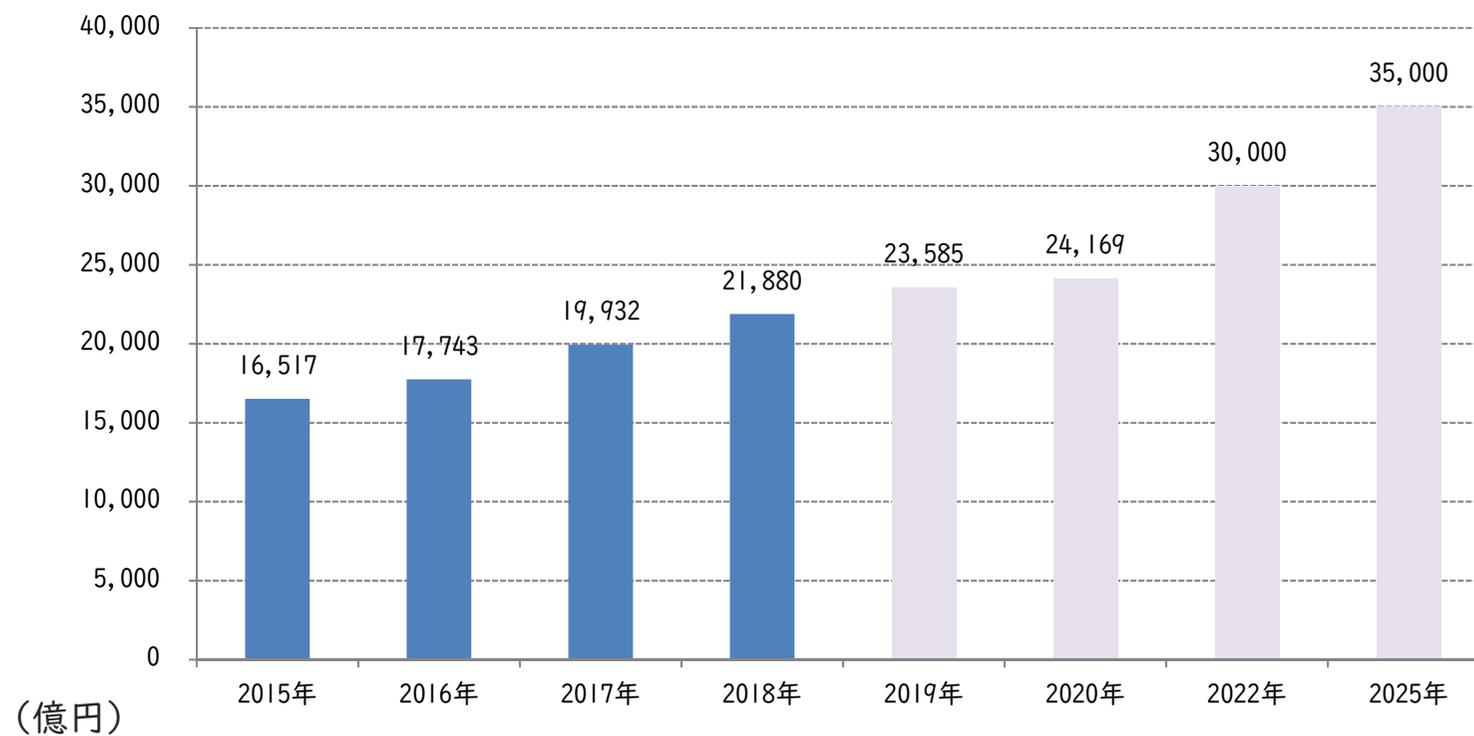
5

2022年3月期：連結損益計算書(会計期間)

単位：百万円	21.3月期				22.3月期			
	1 Q 実績	2 Q 実績	3 Q 実績	4 Q 実績	1 Q 実績	2 Q 実績	3 Q 実績	4 Q 実績
売上高	82,860	75,718	84,817	84,961	76,088	75,860	93,042	
(前期比)	129.6%	102.1%	101.0%	102.3%	91.8%	100.2%	109.7%	
売上総利益	33,230	30,286	31,428	30,278	31,011	31,167	34,974	
(前期比)	111.8%	100.2%	98.7%	94.6%	93.3%	102.9%	111.3%	
(売上総利益率)	40.1%	40.0%	37.1%	35.6%	40.8%	41.1%	37.6%	
販管費	29,673	30,219	30,594	30,424	29,855	30,840	30,795	
(前期比)	109.4%	106.9%	104.3%	104.6%	100.6%	102.1%	100.7%	
営業利益	3,557	66	834	▲145	1,155	326	4,178	
(前期比)	136.7%	3.4%	33.1%	—	32.5%	490.6%	500.9%	

5

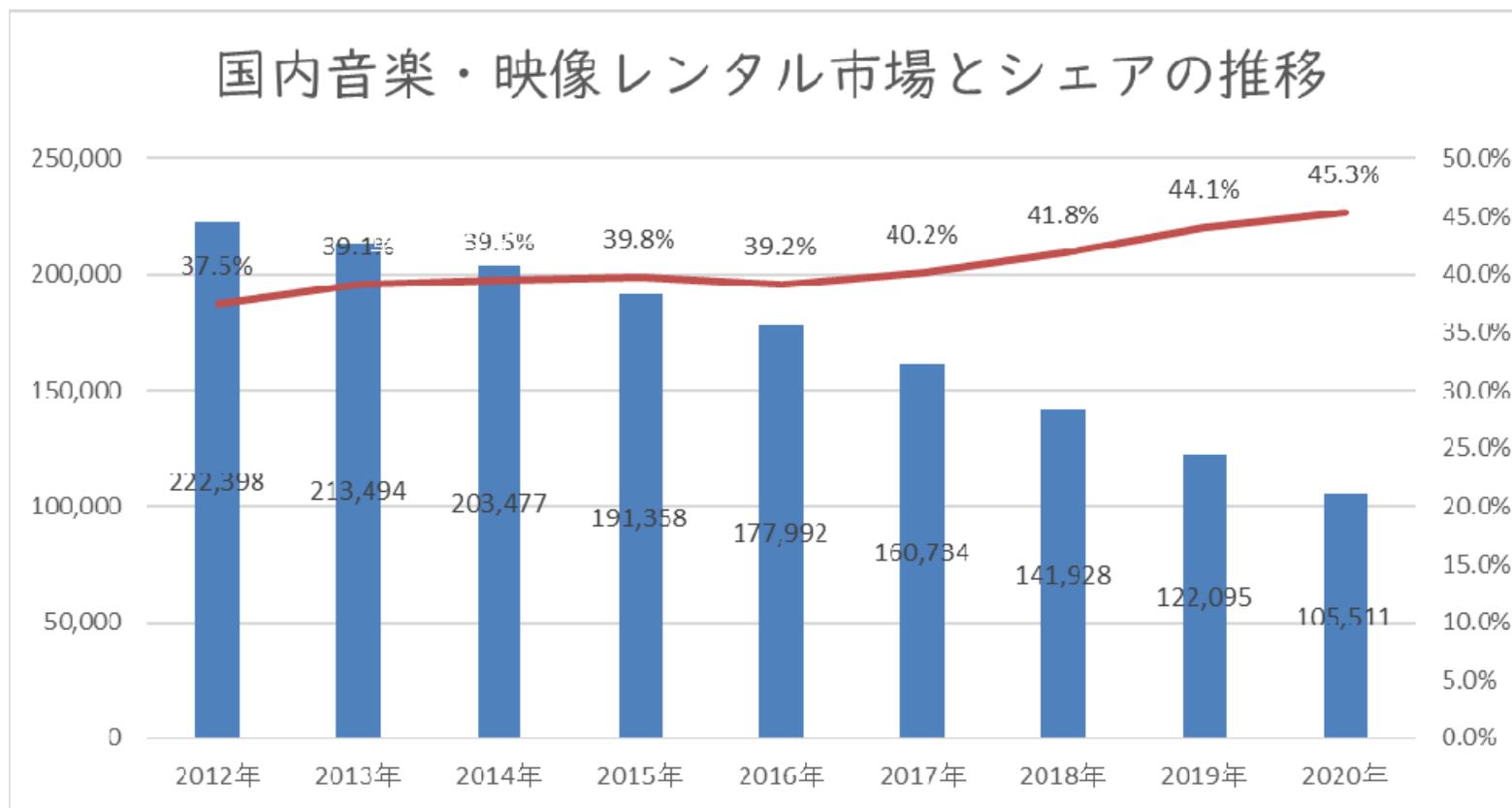
市場動向(リユース)



(出典:リサイクル通信「中古市場データブック2021」)

5

市場動向（レンタル）



(単位:百万円)

(出典:経済産業省 特定サービス産業動態統計調査)

*特定サービス産業動向調査をもとに当社推計

*宅配レンタル・コミックレンタルは含まれておりません。

将来の見通しに関する記述の注意

本資料に記載されている、当社グループに関する業績見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価ならびに業績や配当の見通し等といった将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての事実は、当社グループが現在入手している情報に基づく、現時点における期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上客観的には、不正確であったり、一般的な状況、天候、景気および消費動向の変化、消費者の嗜好変化等による潜在的リスクを含んでおり、将来その通りに実現するという保証はいたしかねます。



GEO HOLDINGS CORPORATION

企業理念：豊かで楽しい日常の暮らしを提供する

お問合せ 株式会社ゲオホールディングス 経理財務部

T E L : 052-350-5711

Email : info@geonet.co.jp